

ならしん景気動向調査レポート

(第16回) 2018年 4月期

奈良信用金庫 総合企画部 奈良県大和郡山市南郡山町529-6

TEL (0743-54-3116) URL <http://www.narashin.co.jp>

1. 調査期間…… 平成30年4月
2. 調査時点…… 平成30年4月 (前回調査 平成30年1月)
3. 調査対象…… 当金庫取引事業先
※対象先は任意に選定(毎年一部見直し)
4. 調査方法…… 往訪面談・電話等によるヒアリング調査
5. 回答状況

	対象先数	回答先数	回答率
製造業	39	38	97.4%
不動産業	17	16	94.1%
サービス業	14	12	85.7%
卸売・小売業	31	30	96.8%
建設業	14	14	100.0%
運輸業	9	9	100.0%
医療・福祉	11	11	100.0%
全業種合計	135	130	96.3%

当金庫でお取引をいただいている事業先から業種に偏りのないよう135社を任意に選定させていただき、最近の業況・資金繰り等、景気動向に関連するアンケート項目の聞き取りについて、ご協力をお願いいたしました。
うち、131社よりご回答を賜りました。

今回調査結果一覧

平成30年4月

全業種

	対象先数	回答先数	回答率	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI
				業況	売上金額	収益	資金繰り	前年同期比売上	前年同期比収益	残業時間	人材
製造業	39	38	97.4%	35.9%	33.3%	17.9%	25.6%	5.1%	15.4%	-7.7%	-2.6%
不動産業	17	16	94.1%	-5.9%	5.9%	-11.8%	11.8%	29.4%	29.4%	5.9%	-5.9%
サービス業	14	12	85.7%	14.3%	7.1%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%	7.1%	-14.3%
卸売・小売業	31	30	96.8%	3.2%	9.7%	6.5%	6.5%	22.6%	16.1%	22.6%	3.2%
建設業	14	14	100.0%	28.6%	35.7%	21.4%	35.7%	7.1%	0.0%	-14.3%	-14.3%
運輸業	9	9	100.0%	44.4%	55.6%	44.4%	44.4%	44.4%	22.2%	-11.1%	-11.1%
医療・福祉	11	11	100.0%	45.5%	54.5%	27.3%	54.5%	63.6%	45.5%	9.1%	27.3%
全業種合計	135	130	96.3%	21.5%	25.2%	12.6%	24.4%	20.7%	18.5%	3.0%	-2.2%

	借入実施		設備投資実施			
	あり	なし	あり	なし		
製造業	25	11	16	20		
不動産業	8	8	3	13		
サービス業	9	1	7	3		
卸売・小売業	18	9	6	21		
建設業	10	3	2	11		
運輸業	6	2	5	3		
医療・福祉	8	2	3	7		
全業種合計	84	36	42	78		

「DI」について

「diffusion index (ディフュージョン・インデックス)」の略で、景気・業況などの動きを示すものです。このレポートでは、お客さまからいただいたご回答のうち「良い」「やや良い」の割合から、「やや悪い」「悪い」の割合を引いたものを記載しています。

(例) 業況について ご回答 (5社)

A社	<u>(1) 良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
B社	(1) 良い	<u>(2) やや良い</u>	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
C社	(1) 良い	(2) やや良い	<u>(3) 普通</u>	(4) やや悪い	(5) 悪い
D社	(1) 良い	(2) やや良い	(3) 普通	<u>(4) やや悪い</u>	(5) 悪い
E社	<u>(1) 良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い

$$DI = \left[\frac{(\text{良い} \times 2 + \text{やや良い} \times 1) \div 5社}{60.0\%} \right] - \left[\frac{(\text{やや悪い} \times 1 + \text{悪い} \times 0) \div 5社}{20.0\%} \right] = 40.0\%$$

全業種合計	対象先 135	回答先 130	回答率 96.3%
-------	---------	---------	-----------

全体調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
25.2%	21.5%	-3.7%	22.2%	25.2%	3.0%	8.1%	12.6%	4.5%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
20.0%	24.4%	4.4%	19.3%	20.7%	1.4%	16.3%	18.5%	2.2%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
1.5%	3.0%	1.5%	-6.7%	-2.2%	4.5%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
64.1%	70.0%	5.9%	28.9%	35.0%	6.1%			

■概況 ※()内はDI値

全業種合計の業況判断DIは前回調査時より3.7ポイント下降したが、良化傾向(21.5%)は継続している。良化幅を下方へと向かわせたのは不動産業、卸売・小売業、建設業、運輸業。他業種については、好調な業況を継続しており楽観視はできないものの、良好な先行きを示唆している。

売上についても業況と同様に不動産業、卸売・小売業、建設業、サービス業で大幅に減少した。全業種では、前回比3ポイント上昇したが、製造業、サービス業、医療・福祉業が大幅に上昇したこともあり、良化傾向を維持した。

収益面については全業種合計で前回比4.5ポイント上昇し、良化傾向を継続。売上を大きく伸ばした製造業、サービス業医療・福祉業が収益面でも良化幅を大きく上昇させた。

収益面で良化幅を下方へと向けた業種は不動産業。不動産業は同業者競争の激化、経費の増加、仕入高等の要因から23.6ポイントの大幅下落となり、悪化傾向となった。

なお、4～6月の収益見通しでは、前回に比べて「良い」と回答した企業が減少したものの、半数以上が「普通」と予想しており、現状を維持していくものと見込まれる。

国内景気は、上場企業が最高益を更新する等好決算が続いており、今後3か月の見込みでも90%以上の企業が普通以上の回答をしていることから国内景気は現状の水準は維持していくと見込まれる。一方で米国の利上げペースの動向や、欧州の政治不安、北朝鮮などの地政学リスク等海外に目を向けると様々なリスクがあり、日本への影響も注視していく必要がある。

なお、借入によって資金調達を行ったのは全体の70%となり、前回比5.9ポイント上昇した。

全業種合計の前年同期比売上は前回調査時1.4ポイント上昇し、良化傾向(20.7%)を継続。

前年同期比の収益についても、前回比2.2ポイント上昇し、全体的に増加傾向(18.5%)を継続している。

なお、設備投資を行ったのは全体の35%であり、前回比6.1ポイント増加した。

経営上の問題点としては「人手不足」「同業者競争の激化」の項目が常態化しており、「人材確保」、「販路拡大」を当面の重点経営施策として挙げる企業が多い。

人材については新卒、中途合わせると6割以上の企業が採用を行っており、経営上の問題点に上がっている人手不足の解消に向けた活動を行っていることが伺える。

■特別調査	人材採用戦略および、今後3ヶ月(1-3月)の業績見込み
採用の状況	「新卒採用」40社、「中途採用」48社、「採用していない」41社
今期の採用予定	「0人」36社、「1～5人」60社、「5～10人」19社、「10～15人」8社、「15人以上」4社
新入社員の教育について	「集団研修」20社、「外部研修への参加」15社、「OJT(現場教育)」65社、「何もしない」21社
当庫新入職員との合同研修があれば参加しますか。	「前向きに検討」4社、「やや前向き」11社、「どちらでもない」67社、「やや消極的」16社、「消極的」24社
業績(4-6月見込み)	「良い」8社、「やや良い」31社、「普通」80社、「やや悪い」9社、「悪い」0社
売上額(4-6月見込み)	「良い」7社、「やや良い」31社、「普通」78社、「やや悪い」12社、「悪い」0社
収益(4-6月見込み)	「良い」4社、「やや良い」26社、「普通」80社、「やや悪い」18社、「悪い」0社

業種別の概況・経営上の問題点・当面の対策・その他特別に調査した項目については、次ページ以降に内容を記載しております。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
35.9%	35.9%	0.0%	20.5%	33.3%	12.8%	10.3%	17.9%	7.6%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
17.9%	25.6%	7.7%	17.9%	5.1%	-12.8%	28.2%	15.4%	-12.8%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
0.0%	-7.7%	-7.7%	-10.3%	-2.6%	7.7%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
66.7%	69.4%	2.7%	38.9%	44.4%	5.5%			

■概況 ※()内はDI値

製造業全体の業況判断DIは前回調査時に比べて横這いとなり良化傾向(35.9%)を維持した。売上金額は前回比12.8ポイント上昇し、良化傾向(33.3%)を拡張した。収益についても売上増加に伴い、前回より7.6ポイント上昇し、良化傾向(17.9%)の幅を拡大させた。販売価格は5.1ポイント下降したが、良化傾向(15.4%)は維持した。また原材料価格も引き続き悪化が進んでおり、今後収益に影響が出てくる可能性がある。資金繰りについては7.7ポイント上昇し、良化幅を拡張した。設備投資を行った先が全体の44.4%で、前回より5.5%増加した。借入実施が増加しているのは設備投資が増加していることの影響であると考えられる。前年同期比売上は前回比12.8ポイント下降したが、良化傾向(5.1%)は維持した。同収益についても前回調査時より12.8ポイント下降したものの良化傾向(15.4%)は維持した。一方人材については、前回より7.7ポイント改善し、不足傾向(-2.6%)は縮小した。

■経営上の問題点

「人手不足」が16社でトップ。次点で「原材料高」、「同業者競争の激化」が10社、「売上停滞・減少」が9社と続く。景況アンケートでは人材の項目は改善されており、重点施策として取組んでいる企業が多いことが伺える。原材料価格は引き続き悪化傾向であり、今後も経営の重荷になる可能性が高い。

■当面の対策

依然、対策としては「販路拡大」が最も多く、21社で重点施策とされている。次いで「人材確保」13社「技術力・営業力強化」12社となっている。

■特別調査	人材採用戦略および、今後3ヶ月(1-3月)の業績見込み
採用の状況	「新卒採用」10社、「中途採用」20社、「採用していない」8社
今期の採用予定	「0人」7社、「1~5人」21社、「5~10人」9社、「10~15人」1社、「15人以上」0社
新入社員の教育について	「集団研修」1社、「外部研修への参加」6社、「OJT(現場教育)」26社、「何もしない」3社
当庫新入職員との合同研修があれば参加しますか。	「前向きに検討」1社、「やや前向き」2社、「どちらでもない」21社、「やや消極的」3社、「消極的」8社
業績(4-6月見込み)	「良い」4社、「やや良い」12社、「普通」19社、「やや悪い」3社、「悪い」0社
売上額(4-6月見込み)	「良い」4社、「やや良い」11社、「普通」19社、「やや悪い」4社、「悪い」0社
収益(4-6月見込み)	「良い」2社、「やや良い」9社、「普通」19社、「やや悪い」8社、「悪い」0社

業況感は引き続き好調を維持し、売上額、収益ともに良化傾向を拡張しております。販売価格DIは前回比下落したものの良化傾向は維持しており、好調な受注が収益DIの上昇に繋がりました。販売価格に加え、原材料価格も悪化幅を広げており、今後売上額が減少した時の影響に注意が必要となります。今後の業績・売上額・収益の各見込み(4~6月)については「良い」「やや良い」と回答した企業が増加し、「やや悪い」、「悪い」の回答が減少していることから良化傾向が続く可能性があります。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
5.9%	-5.9%	-11.8%	17.6%	5.9%	-11.7%	11.8%	-11.8%	-23.6%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
5.9%	11.8%	5.9%	11.8%	29.4%	17.6%	5.9%	29.4%	23.5%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
11.8%	5.9%	-5.9%	0.0%	-5.9%	-5.9%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
58.8%	50.0%	-8.8%	0.0%	18.8%	18.8%			

■概況 ※()内はDI値

不動産業全体の業況判断DIは11.8ポイント下落し悪化傾向(▲5.9%)に転じた。
 売上金額についても、前回調査時より11.7ポイント下落したが、良化傾向(5.9%)は維持した。
 販売価格は前回調査時より5.9ポイント悪化し、悪化傾向を拡張した。
 仕入れ価格も悪化傾向にあり、販売価格の悪化影響も加わり、収益は大幅に下落(▲23.5%)し悪化傾向となった。
 資金繰りについては前回比5.9ポイント上昇し、良化幅を拡大した。
 なお、借入によって資金調達を行った先は全体の50%であり、前回比8.8ポイント減少した。

一方で、売上における前年同期比では、前回比17.6ポイント上昇し、良化傾向(29.4%)を拡大した。
 また、同収益についても、前回比23.5ポイント上昇し、良化傾向(29.4%)を拡大した。
 残業時間は前回調査時より5.9ポイント悪化したが、良化傾向(5.9%)は維持した。
 人材は前回調査時より5.9ポイント悪化し、不足傾向(▲5.9%)に転じた。
 設備投資は前回調査時より18.8ポイント上昇し、実施した企業は増加した。

■経営上の問題点

経営課題としては、前回と同様「同業者競争の激化」が8社でトップ。次いで「経費の増加」が5社、「人手不足」「売上停滞・減少」が各々3社と続いた。販売価格、仕入れ価格の悪化傾向が継続されていることから、「同業者競争の激化」が深刻であることが伺える。

■当面の対策

当面の対策は「情報力の強化」が8社となりトップとなった。続いて「宣伝・広告の強化」、「技術力・営業力の強化」、「販路拡大」、「人材確保」が各々4社と続いた。

■特別調査	人材採用戦略および、今後3ヶ月(1-3月)の業績見込み
採用の状況	「新卒採用」1社、「中途採用」3社、「採用していない」12社
今期の採用予定	「0人」11社、「1~5人」4社、「5~10人」0社、「10~15人」0社、「15人以上」0社
新入社員の教育について	「集団研修」1社、「外部研修への参加」0社、「OJT(現場教育)」4社、「何もしない」9社
当庫新入職員との合同研修があれば参加しますか。	「前向きに検討」0社、「やや前向き」1社、「どちらでもない」11社、 「やや消極的」0社、「消極的」3社
業績(4-6月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」11社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(4-6月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」10社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
収益(4-6月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」9社、「やや悪い」2社、「悪い」0社

売上DIはかろうじて良化傾向を維持したものの、業況、収益DIは悪化傾向へと転じました。同業者競争の激化が深刻であり、価格競争が一因となっていることが伺えますが、価格DIについては未だ悪化傾向にはあるものの業況感を上方へと向かわせており、一方で仕入れ価格が高騰していくことも要因となっているものと思われます。重点施策としては、情報力の強化、営業力や販路拡大に力を入れ、同業者競争への対策が主となっているようです。今後の業績、売上、収益の見込みについても大半が「普通」と回答しており、急激な改善は見込まれないようです。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
0.0%	14.3%	14.3%	-14.3%	7.1%	21.4%	-28.6%	0.0%	28.6%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	-7.1%	14.3%	21.4%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-21.4%	7.1%	28.5%	-35.7%	-14.3%	21.4%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
76.9%	90.0%	13.1%	46.2%	70.0%	23.8%			

■概況 ※()内はDI値

医療・福祉を除くサービス業の業況判断DIは、前回調査時と比べて14.3ポイント上昇し良化傾向に転じた。売上金額についても、前回比21.4ポイント大幅に上昇し、良化傾向(7.1%)に転じた。材料価格DIは前回比21.4ポイント上昇したものの、依然として悪化傾向(▲14.3%)を継続。売上増加、材料価格改善が寄与し、収益DIは前回比28.6ポイント大幅上昇し悪化傾向から横這いに転じた。

また、借入によって資金調達を行った先は全体の90%であり、前回比13.1ポイント上昇した。

前年同期比売上も前回比14.3ポイント改善し、良化傾向(14.3%)となった。

同収益についても前回比21.4ポイント大幅に上昇し、良化傾向(14.3%)に転じた。

人材についても21.4ポイント改善し、不足傾向(▲14.3%)は縮小した。働き方改革の影響からか残業時間は前回比28.5ポイント改善し良化傾向(7.1%)に転じた。

設備投資を行った先は全体の70%で、前回調査時より23.8ポイント上昇した。

■経営上の問題点

「人手不足」が5社、「同業者競争の激化」、「人件費の増加」が4社と続いた。前回調査時よりも競争の激化は緩和された結果となっているが、「人件費の増加」等新たな問題も出てきている。

■当面の対策

依然として「人材確保」が7社で当面の対策として取組みされている。次点で「経費削減」が6社と続き、収益の低下から、前回調査時同様経費削減にも意識が向いていることが伺える。

■特別調査	人材採用戦略および、今後3ヶ月(1-3月)の業績見込み
採用の状況	「新卒採用」5社、「中途採用」4社、「採用していない」3社
今期の採用予定	「0人」2社、「1~5人」7社、「5~10人」2社、「10~15人」0社、「15人以上」1社
新入社員の教育について	「集団研修」2社、「外部研修への参加」2社、「OJT(現場教育)」6社、「何もしない」2社
当庫新入職員との合同研修があれば参加しますか。	「前向きに検討」0社、「やや前向き」1社、「どちらでもない」7社、「やや消極的」1社、「消極的」2社
業績(4-6月見込み)	「良い」1社、「やや良い」3社、「普通」7社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
売上額(4-6月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」8社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
収益(4-6月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」8社、「やや悪い」0社、「悪い」0社

業況、売上、収益DIともに大幅に改善し、良化傾向に転じました。しかしながら、依然として材料価格の高騰、人手不足の常態化による人件費の増加などが問題視されており、それに加えて同業者競争からか、料金価格が大幅に悪化(▲21.4%)していることもあり、今後の売上への影響が危惧されます。人材確保と同じく、経費削減を当面の対策としている企業も多く、サービスの資本である人材にかかる投資と、その他コストを抑えて収益に還元しようとする意識が高まっております。

今後の業績見込みについては普通、やや良いの回答が多くなっており、前回調査時に比べると業況は上向いているようです。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
6.5%	3.2%	-3.3%	12.9%	9.7%	-3.2%	3.2%	6.5%	3.3%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
9.7%	6.5%	-3.2%	16.1%	22.6%	6.5%	9.7%	16.1%	6.4%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
19.4%	22.6%	3.2%	-6.5%	3.2%	9.7%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
46.7%	66.7%	20.0%	30.0%	22.2%	-7.8%			

■概況 ※()内はDI値

卸売・小売業全体の業況判断DIは前回は3.3ポイント下落したが、良化傾向(3.2%)は維持した。売上についても3.2ポイント下落したものの良化傾向(9.7%)を維持。収益に関しては3.3ポイント上昇、良化傾向(6.5%)を拡大させた。販売価格についても3.2ポイント下落となったが、良化傾向(12.9%)は維持した。仕入れ価格については、前回は12.9ポイント悪化し、悪化傾向(▲19.4%)を拡大させた。在庫は前回より3.2%改善したものの悪化傾向(▲9.7%)が継続となった。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の66.7%となり、前回は20ポイント増加した。

前年同期比売上は前回は6.5ポイント上昇、良化傾向(22.6%)の拡大となった。

同収益についても前回は6.4ポイント上昇、良化傾向(16.1%)を拡大した。

残業時間は前回は3.2ポイント上昇、改善傾向(22.6%)を拡張し、人材不足も前回は9.7ポイント増加し、良化傾向(3.2%)に転じた。

設備投資割合は22.2%となり、前回は7.8ポイントの減少となっている。

■経営上の問題点

依然として「同業者競争の激化」が18社でトップ。次点で「人手不足」が8社、「売上停滞・減少」、「材料高」が7社と続いている。同業者競争の激化を問題点とする企業が前回調査時よりも増加し、競争が激しくなっていることが伺える。人手不足についても常態化しているのが実態である。

■当面の対策

依然として「販路拡大」が16社でトップ。次点も前回同様「経費節減」、「人材確保」が9社と続いた。同業者競争が激化していることから、販路拡大を行いたい事業者が多い結果となった。

■特別調査	人材採用戦略および、今後3ヶ月(4-6月)の業績見込み
採用の状況	「新卒採用」13社、「中途採用」8社、「採用していない」9社
今期の採用予定	「0人」9社、「1~5人」13社、「5~10人」6社、「10~15人」0社、「15人以上」1社
新入社員の教育について	「集団研修」9社、「外部研修への参加」2社、「OJT(現場教育)」12社、「何もしない」4社
当庫新入職員との合同研修があれば参加しますか。	「前向きに検討」0社、「やや前向き」3社、「どちらでもない」14社、 「やや消極的」7社、「消極的」4社
業績(4-6月見込み)	「良い」1社、「やや良い」5社、「普通」21社、「やや悪い」3社、「悪い」0社
売上額(4-6月見込み)	「良い」1社、「やや良い」6社、「普通」20社、「やや悪い」3社、「悪い」0社
収益(4-6月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」22社、「やや悪い」4社、「悪い」0社

前回調査時に大幅に業況改善した卸売・小売業ですが、本調査でも業況・売上は微減となったものの、良化傾向は維持しました。しかしながら、販売価格と仕入れ価格DIが下降傾向にあることから、今後売上を圧迫してくることが想定されます。また、依然として同業社との激しい競争は変わらず、販路拡大に加えて人材確保にも注力する姿勢が伺えます。

業績・売上・収益見込みについては、大半の企業が「普通」と回答しておりますが、「やや良い」以上の回答が前回より減少しており、今後の業況に注視していく必要があります。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
42.9%	28.6%	-14.3%	50.0%	35.7%	-14.3%	21.4%	21.4%	0.0%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
42.9%	35.7%	-7.2%	14.3%	7.1%	-7.2%	7.1%	0.0%	-7.1%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-14.3%	-14.3%	0.0%	-14.3%	-14.3%	0.0%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
71.4%	76.9%	5.5%	0.0%	15.4%	15.4%			

■概況 ※()内はDI値

建設業全体の業況判断DIは前回は14.3ポイント下落したが、良化傾向(28.6%)を継続している。売上金額についても、前回は14.3ポイント下落したが、良化傾向(35.7%)を継続している。受注残高についても、前回は7.1ポイント下落したが、良化傾向(35.7%)を維持した。

資金繰りについても前回調査時より7.1ポイント下落したが良化傾向(35.7%)を継続。収益についても前回は横這いで、良化傾向(21.4%)を維持した。

借入によって資金調達を行った先は76.9%で前回は5.5ポイント上昇し、高い借入実施となった。

前年同期比売上は前回は7.2ポイント下落したが、良化傾向(7.1%)は維持した。同収益についても前回は7.1ポイント下落し、横這いに転じた。

残業時間は前回は横這いとなり、悪化傾向(▲14.3%)が継続した。

人材不足についても前回調査時横這いとなり、引続き不足傾向(▲14.3%)となった。

なお、設備投資を行った先は15.4%となっており、前回よりも15.4ポイント上昇した。

■経営上の問題点

依然として「同業者競争の激化」が12社と最も多く、次いで「経費の増加」が6社と続いた。前回調査と同様の結果となったが、問題点として意識する企業数は増加に転じている。

■当面の対策

「販路拡大」が8社でトップ。次点で、「人材確保」、「情報力の強化」、「技術力・営業力強化」が各々5社と続いた。同業者競争の激化を問題点としてあげる企業が増加しており、販路拡大にて売上減少をカバーする動きとなっている。

■特別調査	人材採用戦略および、今後3ヶ月(1-3月)の業績見込み
採用の状況	「新卒採用」1社、「中途採用」4社、「採用していない」9社
今期の採用予定	「0人」7社、「1~5人」7社、「5~10人」0社、「10~15人」0社、「15人以上」0社
新入社員の教育について	「集団研修」1社、「外部研修への参加」1社、「OJT(現場教育)」8社、「何もしない」2社
当庫新入職員との合同研修があれば参加しますか。	「前向きに検討」1社、「やや前向き」1社、「どちらでもない」7社、 「やや消極的」3社、「消極的」1社
業績(4-6月見込み)	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」10社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
売上額(4-6月見込み)	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」9社、「やや悪い」3社、「悪い」0社
収益(4-6月見込み)	「良い」0社、「やや良い」1社、「普通」10社、「やや悪い」3社、「悪い」0社

業況、売上DIともに前回調査時より良化幅を下方に向かわせましたが、全体として高いDIが示す通り好調を維持していると思われます。しかし、原材料価格の高騰や請負価格が大幅に下落していることなどからも、今後の業況への不安材料を抱えています。また、引続き激しい競争、経費の増加の問題は解消しておらず、加えて人材確保も問題視されていることから、他社との差別化を図るために、技術力・営業力強化に取り組む姿勢が伺えます。今後3か月の見込みでは「やや悪い」と回答した企業が増え、好調を維持しながらも楽観視できない状況となっております。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
77.8%	44.4%	-33.4%	66.7%	55.6%	-11.1%	44.4%	44.4%	0.0%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
55.6%	44.4%	-11.2%	66.7%	44.4%	-22.3%	55.6%	22.2%	-33.4%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-11.1%	-11.1%	0.0%	44.4%	-11.1%	-55.5%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
62.5%	75.0%	12.5%	50.0%	62.5%	12.5%			

■概況 ※()内はDI値

運輸業全体の業況判断DIは前回は33.3ポイントと大幅に下落したが、良化傾向(44.4%)は維持した。売上金額も前回は11.1ポイント下落したが、良化傾向(55.6%)を継続、収益面については前回は横這いで良化傾向(44.4%)を維持した。燃料価格については前回は変化なく横這い、料金価格は33.3ポイント上昇し良化傾向(44.4%)は拡大。資金繰りは11.1ポイント下落したが良化傾向(44.4%)は維持した。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の75%であり、前回は12.5ポイント増加した。

前年同期比売上は前回は22.3ポイント下落したが、良化傾向(44.4%)を継続。同収益も同様に、前回は33.4ポイント大幅に下落したが、良化傾向(22.2%)は継続している。残業時間は前回は横這いで悪化傾向(▲11.1%)を継続。

人材不足は前回は55.5ポイント大幅下落し、悪化傾向(▲11.1%)に転じた。なお、設備投資を行った先は62.5%となり12.5ポイント増加した。

■経営上の問題点

「人手不足」が5社でトップ。人材DIが大幅に悪化していることから、人材難の問題が表面化してきている。

■当面の対策

「人材確保」が6社でトップ。次点で「販路拡大」、「経費削減」が3社と続いた。人材DIも悪化しており重点施策と認識している企業が多かった。

■特別調査	人材採用戦略および、今後3ヶ月(1-3月)の業績見込み
採用の状況	「新卒採用」1社、「中途採用」7社、「採用していない」0社
今期の採用予定	「0人」0社、「1~5人」6社、「5~10人」1社、「10~15人」0社、「15人以上」2社
新入社員の教育について	「集団研修」0社、「外部研修への参加」3社、「OJT(現場教育)」5社、「何もしない」1社
当庫新入職員との合同研修があれば参加しますか。	「前向きに検討」0社、「やや前向き」1社、「どちらでもない」1社、「やや消極的」2社、「消極的」5社
業績(4-6月見込み)	「良い」1社、「やや良い」4社、「普通」4社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(4-6月見込み)	「良い」1社、「やや良い」4社、「普通」4社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
収益(4-6月見込み)	「良い」1社、「やや良い」3社、「普通」4社、「やや悪い」1社、「悪い」0社

業況、売上ともに前回より悪化となったものの、DI指数は好調を維持しております。好調な業況が示す通り、料金価格においても良化幅を拡張し、安定的に収益を確保できる状況となっております。今後3か月の業績見込みにおいても、好調な業況が続くと想定されますが、好調な業況に伴う人手不足の深刻化による労働力不足といった内的要因や原油価格の上昇等といった外的要因の業況への影響が懸念されることから、今後の業況に注視していく必要があります。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
36.4%	45.5%	9.1%	36.4%	54.5%	18.1%	9.1%	27.3%	18.2%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
27.3%	54.5%	27.2%	36.4%	63.6%	27.2%	18.2%	45.5%	27.3%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	27.3%	27.3%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
90.0%	80.0%	-10.0%	40.0%	30.0%	-10.0%			

■概況 ※()内はDI値

医療・福祉分野の業況判断DIは前回は9.1ポイント増加し、良化傾向(45.5%)を拡大した。
 売上金額についても、前回は18.1ポイント増加し、良化傾向(54.5%)を拡大した。
 ペット稼働率については前回調査時よりも9.1ポイント下落したが、引き続き良化傾向(45.5%)を維持。
 通院者数は9.1ポイント増加し良化傾向(54.5%)を拡大した。
 収益については前回は18.2ポイント増加し、良化傾向(27.2%)を拡大した。
 また、資金繰りについては前回は27.3ポイントと大幅に改善し、良化傾向(54.5%)を拡大した。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の80%であり、前回は10ポイント減少している。

また、前年同期比売上は前回は27.2ポイント上昇し、良化傾向(63.6%)を拡大。
 同収益については、前回は27.3ポイント上昇し、良化傾向(45.5%)を拡大した。
 残業時間は前回は9.1ポイント上昇し、良化傾向(9.1%)となった。
 人材面では、前回は27.3ポイント上昇し、良化傾向(17.3%)となった。
 なお、全体の30%の先で設備投資を行っており、前回は微減となった。

■経営上の問題点

「人件費の増加」が7社で最多。次いで「人手不足」が6社と続いた。引き続き人手不足が問題となっており人件費を増加させて、人手の確保に動いていることが伺える。

■当面の対策

「人材確保」が依然として最も多く8社。次いで「社員教育」が5社と続いた。
 優秀な人材確保に注力することに加えて、早期の戦力化を目指し教育にも力を入れていることが伺える。

■特別調査	人材採用戦略および、今後3ヶ月(1-3月)の業績見込み
採用の状況	「新卒採用」9社、「中途採用」2社、「採用していない」0社
今期の採用予定	「0人」0社、「1~5人」2社、「5~10人」1社、「10~15人」7社、「15人以上」0社
新入社員の教育について	「集団研修」6社、「外部研修への参加」1社、「OJT(現場教育)」4社、「何もしない」0社
当庫新入職員との合同研修があれば参加しますか。	「前向きに検討」2社、「やや前向き」2社、「どちらでもない」6社、「やや消極的」0社、「消極的」1社
業績(4-6月見込み)	「良い」1社、「やや良い」2社、「普通」8社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(4-6月見込み)	「良い」1社、「やや良い」2社、「普通」8社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
収益(4-6月見込み)	「良い」1社、「やや良い」2社、「普通」8社、「やや悪い」0社、「悪い」0社

業況、売上については、良化傾向を維持し、依然として好調な業況を維持しております。ベッド稼働率は減少したものの好調な業況を維持しており、加えて通院者数の増加が好調な業況維持に繋がったものと思われまます。
 当面の施策として、サービス業の要である人材確保、社員教育が重要視されており、人手不足に加え、採用した人材の早期戦力化が重要と認識されています。
 4-6月の業績・売上額・収益の各見込みでは全企業で「普通」以上の回答となっており、依然として業況は堅調に推移していくと見込まれます。